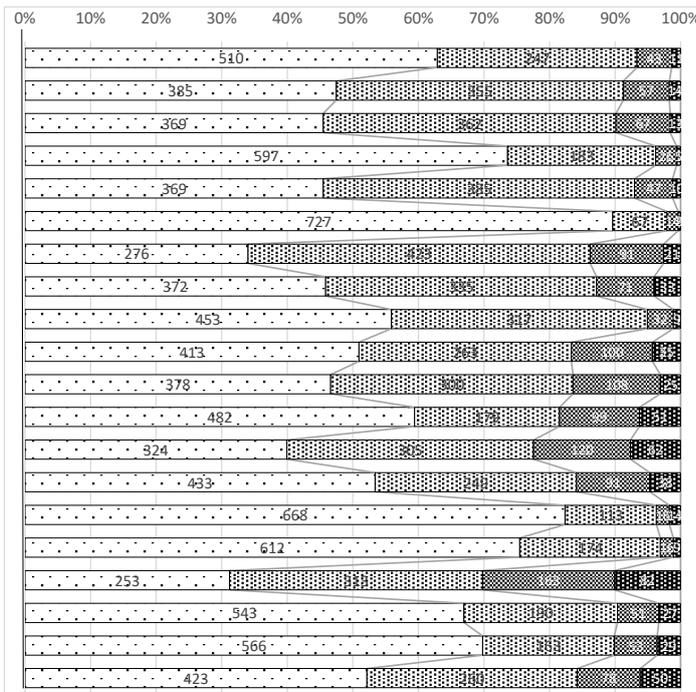


12月に全校児童および保護者を対象に学校教育評価アンケートを実施しました。保護者の方々からの回答率は約78%でした。アンケートから読み取れる現状の成果や課題を見つめ直し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。

児童



1	学校は、楽しいですか。
2	勉強や行事では、目標をもってあきらめずに取り組んでいますか。
3	落ち着いて学習に取り組んでいますか。
4	安全に心がけて行動し、命を大切にしていますか。
5	きまりやマナーを守り、周りの人と協力していますか。
6	学校には、仲のいい友だちがいますか。
7	正しい言葉遣いで話していますか。
8	気持ちよくあいさつをしていますか。
9	そうじや係の仕事に、がんばって取り組んでいますか。
10	体育や休み時間など、進んで運動していますか。
11	進んで宿題や自主学習に取り組んでいますか。
12	読書をしていますか。
13	「早ね、早起き、朝ごはん」ができていますか。
14	こまったときには、先生や大人の人に相談できていますか。
15	いじめは絶対に許されないと認めますか。
16	先生は、勉強をわかるように教えてくれていますか。
17	地域の行事に進んで参加していますか。
18	学校や友だちのことなど、家で話していますか。
19	家の人は、いいところやがんばっているところをほめてくれていますか。
20	自分には、いいところがありますか。

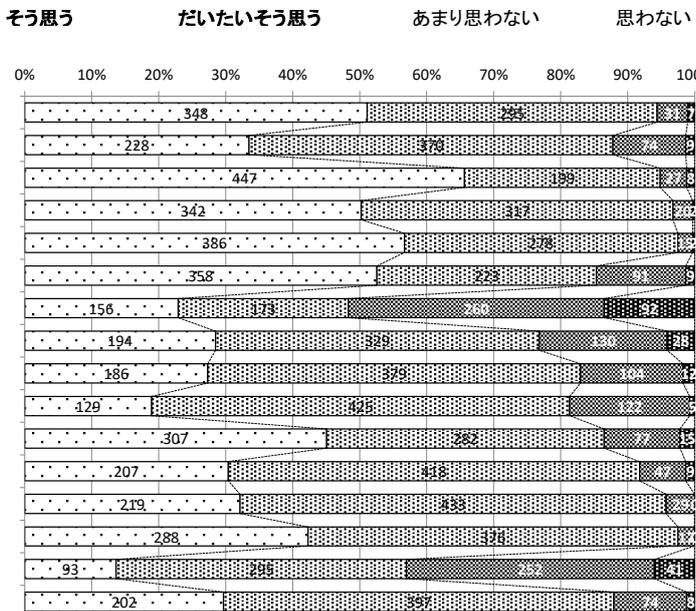


肯定的な回答の割合	R7	R6	傾向
93%	93%	-	
91%	90%	-	
90%	91%	-	
96%	98%	-	
93%	95%	-	
98%	98%	-	
86%	-	-	
87%	82%	↑	
95%	95%	-	
83%	86%	-	
84%	83%	-	
82%	76%	↑	
78%	77%	-	
84%	78%	↑	
96%	96%	-	
97%	96%	-	
70%	81%	↓	
90%	89%	-	
90%	92%	-	
84%	-	-	

保護者



1	お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。
2	お子さんは、勉強や行事など、目標をもって粘り強く取り組んでいますか。
3	お子さんには、仲の良い友だちがいますか。
4	お子さんは、学校のルールを守って生活していますか。
5	お子さんは、自分も友達も大切にする子に育っていますか。
6	お子さんは、体を動かすことや運動に親んでいますか。
7	お子さんは、読書をしていますか。
8	お子さんは、家庭学習にしっかり取り組んでいますか。
9	お子さんは、あいさつがしっかりとできていますか。
10	お子さんは、正しい言葉遣いで話していますか。
11	お子さんは、学校や友だちのことなどを家庭で話していますか。
12	学校は、仲間はずれやいじめを許さない学級・学校づくりに努めていますか。
13	学校は、体験学習の実実や、わかりやすい授業づくりに努めていますか。
14	学校は、参観や行事等を通して、開かれた学校づくりに努めていますか。
15	家庭では、地域行事に進んで参加されていますか。
16	家庭では、お子さんと約束事やルールを決め、日々実行されていますか。



肯定的な回答の割合	R7	R6	傾向
94%	93%	-	
88%	89%	-	
95%	94%	-	
97%	95%	-	
98%	(99%)	-	
85%	85%	-	
48%	46%	-	
77%	66%	↑	
83%	68%	↑	
81%	-	-	
86%	88%	-	
92%	(84%)	(↑)	
96%	-	-	
98%	-	-	
57%	69%	↓	
88%	(94%)	(↓)	

《全般》

今年度は評価内容を見直し、項目を整理しました。新規項目や、今回文面を変更したものの(カッコ表記)については、前年度との比較が正確にはできませんが、学校へ楽しく通っているとの回答は、児童・保護者とも93%以上でした。多くの子どもたちが学校生活に楽しみを見出しているようです。学校は決して楽しいことばかりではありませんが、様々な学校での経験を通して、児童質問の最後の項目「自分にはいいところがある」で、胸を張って答えられる児童の育成を目指しと考えています。また、児童数が増え続けていることから、教室数をはじめとする校舎内の制限も生じている状況ですが、安心安全を最優先に考え、今後も保護者や地域と連携のもと、学習や行事の取り組み等を工夫して進めていきます。

◎あいさつ・言葉遣い

児童、保護者ともに、あいさつの項目が大きく上がっています。あいさつは生活の基本であり、当たり前に行えることは、誇らしいことです。校外へ出かけても、「あいさつがしっかりとできる子どもたちですね」とほめていただくことが多くあります。保護者の方も、来校される際は気持ちよくあいさつをされる方がほとんどです。教職員の方が襟を正さなければならないと感じることもあります。しかし、気持ちのよいあいさつができる子が多い反面、子ども同士の会話からは、「きしょい」「おまえ」「しね」といった残念な言葉が聞こえてきます。そういった言葉がきっかけとなり、トラブルに発展するケースも少なくありません。互いが気持ちよく過ごすためには、正しい言葉遣いが不可欠です。正しい言葉遣いをするには、見本となる日常の環境が必要です。学校、学童、スボ少、習い事、そして家庭…。子どもの生活の場すべてにおいて、まず大人自身が正しい言葉を意識するようにすることから始まります。

◎家庭学習・読書

保護者の回答をみると、家庭学習への取組が積極的になっているようです。学校での学習だけでなく、その日の復習や明日の予習、興味を持った事象の追求など、自分の学びに落とし込む学習習慣づくりは、学年が大きくなるほど必要になってきます。学び続ける力をつける土台となる、宿題や自主学習の習慣化を目指し、引き続き家庭でも声掛けをしてあげてください。児童の回答で、読書の項目が上がっています。今年度は図書館司書を迎え、図書室の整備を進めています。PTAからもたくさんのお金を投入していただき、子どもたちが行きたくなる、読みたくなる図書環境づくりに力を入れています。

◎地域の一員として

児童、保護者とも地域行事への参加について、先年度より10%以上低い回答結果となっています。地域コミュニティの成立が難しいといわれる昨今ですが、ここ下阪本学区では、「秋祭り」「クリーン作戦」「子ども食堂」など、多くの地域行事が積極的に行われています。自然や歴史環境に恵まれた地域を教材にして、生活科、社会科、総合的な学習の時間の学習を展開していくとともに、学校は地域コミュニティの発信基地としての役割を果たすべく、地域連携を図っていきたくと考えます。お互いに地域行事に関心を持ち、つながりを広げていく意識を高め、ポイントの低下を防ぎたいものです。

《自由記述より》

- ・運動会や音楽会、下阪本などの行事など、子どもが夢中になっている様子を見ると、感謝でいっぱいです。先生方には日々ご尽力いただき、本当にありがとうございます。
- ・成績と共に懇談をしてもらえるようになり、子どもの状況がよくわかり良かった。
- ・スマホやSNS環境での対応としては後手になってしまっていると思う。危険性の指導は親にも必要で、指導内容をもっと具体的に(各SNSや主要ゲーム等の規定された年齢制限を具体的な数字を示して親に伝達する等々)踏み込んだものがいいと思う。判断は保護者に求めたらいいので、情報だけはしっかり渡したほうがよいと感じます。

このほかにも、学校行事の持ち方に対するご意見をはじめ、タブレットの活用、登校時の課題、教員としての姿勢や子どもとの向き合い方に関する声などをいただきました。子どもの見本となる教師自身が襟を正すとともに、学校の創意工夫においてできる部分から改善していきたいと思えます。教職員への温かいメッセージも多数いただきました。ありがとうございました。